

明石工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	建築計画Ⅲ		
科目基礎情報							
科目番号	0022	科目区分	専門 / 必修				
授業形態	演習	単位の種別と単位数	履修単位: 1				
開設学科	建築学科	対象学年	4				
開設期	前期	週時間数	2				
教科書/教材	柳澤忠監修:「設計力を育てる建築計画100選」、共立出版						
担当教員	坂戸 省三,寺岡 宏治,徳岡 浩二						
到達目標							
1)建築物の寿命はどのように捉えられるか理解し、建築空間の長寿命化のための計画手法を説明できる。 2)計画・設計プロセスの諸段階を知り、設計を進めていく上で必要な基本的な平面型の知識、全体計画のまとめ方等を理解している。 3)地域の問題の住民による自主的解決に関連して建築協定の意義を理解している。 4)人間性豊かな住空間を創造するため、人間学的視点の必要性や、高齢者施設の設立目標などを理解している。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安				
評価項目1	建築の長寿命化の手法についての説明できる。	建築の長寿命化の手法について説明できる。	建築の長寿命化の手法について説明できない。				
評価項目2	計画・設計の方法などについての説明できる。	計画・設計の方法などについて説明できる。	計画・設計の方法などについて説明できない。				
評価項目3	建築協定についての説明できる。	建築協定について説明できる。	建築協定について説明できない。				
評価項目4	建築設計において総合的、人間学的視点が必要であることを具体的に理解できる。	建築設計において総合的、人間学的視点が必要であることを理解できる。	建築設計において総合的、人間学的視点が必要であることを理解できない。				
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育目標 (D) 学習・教育目標 (E) 学習・教育目標 (H)							
教育方法等							
概要	建築は人間の生活を支える器であり、生活を左右するが、建築計画学は生活を豊かにする力を科学的に認識し、理論化する学問である。本講義はそうした視点から計画課題の明確化、設計の進め方について講義する。						
授業の進め方・方法	講義。全講義のうち4回は建築設計の第一線で活躍する建築家である二人の非常勤講師が建築設計業務の実際について講義する。						
注意点	建築には、例えば、様々な人々の生活パターンに対応する多様性、機能と空間構成の関係、機能内容の時代的变化、等々の多くの側面がある。建築の計画・設計について考えるときは諸側面を総合的に捉えるように心がけること。合格の対象としない欠席条件(割合) 1/3以上の欠課						
授業計画							
	週	授業内容	週ごとの到達目標				
前期	1stQ	1週	授業の進め方 授業の進め方および建築計画学を勉強する上でのポイントの説明。				
		2週	フレキシビリティとエキスパンシビリティ	建築空間に対する利用者の要求は年月とともに変化してゆく。それに対応しうる計画手法を解説。			
		3週	建築寿命のとらえかた	建築物の寿命といっても多様な捉え方がある。どのような寿命の概念があるのかを概説する。			
		4週	建築へのアプローチ01 (寺岡講師)	街の見方、都市との接点。路上観察。			
		5週	建築を志すということ (徳岡講師)	建築の楽しさと厳しさ、社会的責務について。			
		6週	中廊下の発生と意味および連結の手法と分割の手法について	中廊下型を例に、建築の平面型の事例と特徴を説明。後半はブロックプランをまとめる手法の解説。			
		7週	計画原論 人間性と空間について	人間が無意識に創り出し、かつ必要としている空間とはどのようなものか、心理学的、人間学的視点から解説			
		8週	計画段階と設計段階	建築設計に先立って企画・計画段階がある。この段階と設計段階を比較し、各々の内容を説明する。			
	2ndQ	9週	建築協定の意義	住民による積極的なまちづくりや、地域の問題の住民間の自主的解決といったことに関連する建築協定について解説。			
		10週	建築へのアプローチ02 (寺岡講師)	建築との出会い、建築の見方。			
		11週	集まって学ぶということ (徳岡講師)	生涯学習施設の計画と実例について。			
		12週	福祉施設	高齢者福祉施設について。グループホーム、小規模多機能福祉拠点について。			
		13週	複合建築	基本事項、建築計画、実例。複合施設の問題点について。			
		14週	低層集合住宅の計画	集住のなわばり学について。			
		15週	補足授業	前期の授業の補足、復習、質問等。			
		16週	期末試験				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	レポート	レジュメ	合計
総合評価割合	50	0	0	0	25	25	100
基礎的能力	50	0	0	0	25	25	100

專門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0